



資料提供
 令和6年12月10日
 課名：中山間地域振興課
 担当者：横田
 内線：2631
 直通：082-513-2632

ひろしま「ひと・夢」未来塾 第10期生の プラン発表会、表彰式及び卒塾式を開催します

今年は湯崎知事から最優秀賞、優秀賞を受賞者へ授与します！

中山間地域の未来をリードし、サポートする人材を育成・確保するために実施している「ひろしま『ひと・夢』未来塾」について、第10期生のプラン発表会、表彰式及び卒塾式を令和6年12月14日（土）に開催します。

次の2コースを設定し、起業準備コースが5回、地域とつながり課題解決コースが4回の講座を通じて、講師やメンターからのアドバイスのもと、目指したい活動内容を明確にしなが
 ら、取組プランを練り上げてきました。

- ①「起業準備コース」（塾生21名）：中山間地域の資源を活用した起業や事業拡大の実現を目指すコース
- ②「地域とつながり課題解決コース」（塾生8名）：地域とつながりを持ちながら、身近な地域課題の解決を目指すコース

その成果をプラン発表会で披露し、起業準備コースは、最優秀賞、優秀賞の受賞者を決定し表彰します。また、今年度から地域とつながり課題解決コースは、プラン発表後、審査・表彰の代わりに、アドバイザーや活動市町職員が加わり、課題解決に向けた意見交換を行います。

当日、プラン発表会終了後の卒塾式では、塾長である湯崎知事から修了証書を授与し、激励のことばを送ります。

地域づくりの未来を担う塾生が練り上げたプランを発表し、表彰されますので、是非ともプラン発表会、表彰式及び卒塾式を、ご取材くださいますようお願いいたします。



最優秀賞・優秀賞を表彰



令和5年度卒塾式の様子

1 開催概要

日時 令和6年12月14日（土）13:00～17:00（※知事出席は、16:30からです。）
 場所 合人社ウェンディひと・まちプラザ 研修室A、B、C（広島市中区袋町6-36）
 出席者 塾長（広島県知事 湯崎英彦）、審査員、アドバイザー、塾生29名等

【審査員：起業準備コース】

氏名	カテゴリ	役職等
のむら たけし 野村 武司 氏	金融機関	ひろぎんエリアデザイン株式会社 ソリューション営業部
いまい きょうこ 今井 恭子 氏	創業・経営・経営者支援	株式会社エールエンジン 代表取締役
たきはら ゆうた 滝原 雄太 氏	創業支援	広島県商工会青年部連合会 会長

【アドバイザー：地域とつながり課題解決コース】

氏名	テーマ	役職等
あんどう しゅうじ 安藤 周治氏	交流人口づくり	NPO 法人ひろしまね 理事長
しみず さなえ 清水 早苗氏	子育て支援・交流拠点づくり	株式会社地域デザイン研究所 代表取締役
おがわ はるか 小川 治孝氏	農業、創業支援	有限会社小川モータース 代表取締役
めいき かずよし 明木 一悦	空き家活用	NPO 法人ぷらっとほーむ小原 代表理事

※ 審査・表彰の代わりに、アドバイザーや活動市町職員が加わり、課題解決に向けた意見交換を行う。

2 次第

プラン発表会等	時間	起業準備コース (研修室B、C)	地域とつながり課題解決コース (研修室A)
	13:30~16:30	○ビジネスプラン発表 (21人×6min) ○審査	○マイプラン発表 (8人×8min) ○意見交換会 (アドバイザー、 関係市町職員等)
16:30~16:45	○審査員総評 ○表彰式 (最優秀賞、優秀賞発表) ○表彰状授与 ~塾長 (知事) から		

会場移動 (卒塾式は、研修室B、Cに移動して両コース合同開催)

卒塾式	16:45~17:00	○修了証書授与(コースごとに卒塾生代表に対し、塾長 (知事) から修了証書を授与) ○塾長 (知事) あいさつ ○写真撮影
-----	-------------	---

3 プラン内容 (一部抜粋)

【起業準備コース】

- ・ 地域資源を活用し、多様な農産物や食材を取り入れたクラフトビールを製造することで、地域内外から関心を集め、認知度向上を図る。
- ・ 生産者のハブとして集荷・発送・PRを担う「産地コーディネーター」を育成し、地域産品を販売するプログラムとして自立を支援する。
- ・ 「森×遊び×防災」をコンセプトに、森林体験と防災スキル習得を組み合わせた特化型プログラムを展開し、未来の安心につながる価値の提供を目指す。



塾生が講義を受ける様子

【地域とつながり課題解決コース】

- ・ 空き家対策をワンストップで行う事務所を開設し、空き家を活用し、新たな人や事業を地域に呼び込むことで、新たな魅力の創出を目指す。
- ・ お米に特化した発信と宣伝を行い、地域の魅力を広く届けることで、夢や未来に希望の光を見つげられる地域社会を目指す。
- ・ 空き家を活用して起業を目指すローカルチャレンジャーの相談窓口となり、空き家再生に関する実践的なノウハウを提供することで、リスクを最小限に抑えた起業促進を目指す。

※他のプラン概要は別紙のとおり

4 その他

取材を希望される場合は、別紙の「取材申込書」に必要事項を記入の上、12月13日(金)12時までに、メールまたはFaxでお申込みください。

起業準備コース

番号	お名前	関係する中山間地域	プランのタイトル	プラン概要
1	三輪 真唯	三次市	繋がりをテーマにしたコミュニティ作り	「繋がりをテーマに、人と人、企業、地域を結ぶコミュニティ作りを目指す。イベントやSNS運営代行を通じて信頼関係を築き、地域活性化の基盤を構築する。楽しさと学びを融合した場を提供し、「ワクワク暮らす大人」を増やすことを目標とする。この取組により、地域内外に広がる新たな価値を創出し、持続可能な地域の未来を実現する。
2	田平 裕子	三次市	～晴桜～ Say.la 犬猫も一緒に地域のコミュニティづくりに向けて	犬服や犬猫グッズのオーダーメイドを中心に、イベント出店や販売を行う。セーラー服の語源である船乗り(sailor)のように、お客様の声を丁寧に聞き取り、一つ一つ心を込めて製作。心が晴れやかになり、喜ばれる物作りを目指している。大好きなハンドメイドを通じて、信頼と安心を届け、手に取る人にも「ふく」を分け与える活動を展開する。
3	岩本 まなみ	安芸太田町	小さい里山の森	過疎と高齢化が進む地方を舞台に、森林整備を軸とした地域活性化プロジェクトを展開する。日本文化と里山の魅力を活かし、人々が集い、学び、交流する場を創出することで、持続可能な里山の未来を目指し、地域に賑わいを取り戻す。
4	山下 浩治	廿日市市及び広島市	人と地域をつなぐ「リレーマラソンフェス」	20年間にわたる地域密着型活動とイベント主催の経験を活かし、人と地域をつなぐ場を提供し、地域活性化を目指すフェスを企画する。この取組を通じて、地域の魅力を発信し、新たな交流や価値の創出を促進することを目指す。
5	小浜 愛香	安芸高田市など	MORI-BO 楽しく遊んで、自然から生き抜く力を学ぶ	「森×遊び×防災」をコンセプトに、森林体験と防災スキル習得を組み合わせた特化型プログラムを展開する。社会課題の解決を目指し、「子どもの成長」「親子の絆」「防災意識の向上」を森を通じて同時に実現することを目標とする。各プログラムは単なるアクティビティに留まらず、未来の安心につながる価値を提供するプランとして設計予定。
6	児玉 大和	安芸高田市	童心にかえって、自分の好きなお仕事を楽しく、円のコミュニティで販売促進	童心にかえって仕事を楽しむ円のコミュニティを形成し、情報共有や助け合いを通じて地域全体の収益向上を目指す。さらに、古民家を再生し、美味しく安心安全な加工工房を提供する場を創出する。
7	大嶋 憲人	広島県全域 (特に東広島市北部)	地域の個人商社「産地コーディネーター」創出事業	中山間地域の一次産業では、高齢化やITリテラシー不足が深刻で、所得向上や担い手確保が困難である。この課題に対し、生産者のハブとして集荷・発送・PRを担う「産地コーディネーター」を育成し、地域産品を販売するプロとして自立を支援する。大崎上島の柑橙を中心に、自社で培ったEC販売のノウハウを提供し、販路として「ふるまる」や飲食店への卸販売を活用。そのモデルケースとして、自ら東広島で資金調達、物流拠点設置、販売を実施予定。将来的には地域おこし協力隊の活用やふるさと納税への展開を目指し、持続可能な地域活性化モデルを構築する。
8	三田 武志	三次、備北地区	里山をてらす 新事業3RISE 里山に光を照らし、未来をつくる	三次フードセンター株式会社は、里山をてらす新事業「3RISE」を通じて、食を介した地域活性化に取り組み。里山アンテナショップ「3RISE店」の開設と6次産業サポート事業を展開し、地域の食材を生かした生産・販売を支援。安心と笑顔が繋がる未来を目指し、地域の暮らしに楽しさと幸せを届ける。
9	中村 けえこ	東広島市福富町	里山暮らし研究所	里山の「豊かな暮らし」を未来へ繋ぐための取組として、次のサービスを展開する。①地域の食育活動を継承する豆腐講座を通じて、伝統的な食文化を次世代に伝える。②自宅開放により、気軽に里山の暮らしを体験できる場を提供する。③地域と協働してイベントを開催し、賑わいや関係人口の創出を目指す。これらを通じて、里山の魅力を地域内外に広げ、持続可能な未来を創る。
10	山本 明宏	広島市安佐北区 白木町	「畑ではくむ、未来に紡ぐ」 自然・知恵・体験を軸にした地域活性化プロジェクト	「畑ではくむ、未来に紡ぐ」をコンセプトに、中山間地域の課題解決を目指すプロジェクト。シェア畑で安全な野菜作りを体験し、季節イベントや庭・竹林を活用した自然活動を通じて、地域資源や知恵を次世代へ繋ぐ。自身の難病克服経験から得た気づきを基に、自然と向き合い心と未来を育む仕組みを提供する。
11	大倉 久美子	安芸太田町	「倉屋」project	町内の困りごとを解決する相談窓口を開設。写真やデータ整理、カメラに関するお手伝い、自分や家族の活動をまとめる支援などを提供する。無料相談を通じて話をじっくり聞き、困りごとを解決する適切な先へつなぐ。地域住民が抱える不便や課題に寄り添い、田舎生活をより豊かにする取組を進める。
12	菊地 永史	神石高原町	家のおもかけ ここに住んでいた証を撮る『家面影(いえい)写真』	神石高原町では空き家問題が深刻である。生まれ育った家は生活の全てが詰まった特別な場所であり、簡単に手放すことができない。そこで、家に暮らした面影を写真に記録することで区切りをつけ、所有者が手放すきっかけを提供する。この取組により、空き家問題の解決と地域活性化を目指す。
13	小松 涼香	世羅郡	世羅町初、世羅町発! 社会貢献型ドッグホテル こころとみんと	保護犬や家庭犬を安心して預けられる環境を提供し、「犬を飼うと旅行に行けない」という課題を解決する世羅町初のドッグホテル。ホテル収益の一部を保護活動費に充て、保護・譲渡活動を継続。預かりを通じて命を救い、地域と社会に新たな価値を提供する取組を進める。
14	新見 祐一郎	庄原市	地域資源×クラフトビール	クラフトビールは、多彩な味わいや香り、幅広い表現に加え、造り手や土地の個性が反映されることで唯一無二の魅力を持つ。地元である庄原市東城町は、人口減少や農家の担い手不足、耕作放棄地の増加といった課題を抱えている。これらの地域資源を活用し、多様な農産物や食材を取り入れたクラフトビールを製造することで、地域内外から関心を集め、認知度向上を図る。将来的には東城町にブルワリーを設立し、地域活性化に寄与する存在を目指す。
15	藤井 千愛樹	三次市	こんなあつたらしいながやうあなたに寄り添うハンドメイドアクセサリー	天然石やスワロフスキーを使用し、お客様の日常に小さな喜びや前向きな気持ちを届けるハンドメイドアクセサリーを制作している。地域の素材や文化を取り入れた商品開発やワークショップを通じ、地元の活性化に貢献するとともに、人々の心に寄り添うアクセサリー作りを目指している。
16	藤家 みのり	三原市大和町	「共生」をテーマに世界中の作家が1つの「世界地図」を作る	「共生」をテーマに、作家が協力して1つの「世界地図」を作り、それを平和のシンボルとして広島から世界へ出版する絵本プロジェクトを展開。親子で共有時間を作り、家族の絆を深め、好奇心を刺激する本を通じて「学ぶ」楽しさを伝える。混沌とした世の中で、意識を一つにし、「世界は共生できる」という平和的メッセージを広めることを目指す。
17	小河内 健太	三次市	プログラミングスクールを通して子どもの未来創造から始まる地域活性化	AIの進展により子どもたちの将来像が劇的に変化する中、保護者として、社会人として地域に貢献できる方法を模索し、プログラミングスクールを開講する。この取組は、子どもたちが将来的に不安なく挑戦できる環境づくりを目指すと同時に、地域活性化との相乗効果を狙うまちづくりプランである。
18	高田 美樹子	三次市	自身の美しさに気づいてますか? 忘れかけた、内なる輝きのように。	年齢や立場に縛られず、常識にとらわれない生き方を実現するため、自分を再発見し、小さな成功体験を積み重ねる行動プランや新しい挑戦を支える体験型プログラムを提供。自由な選択を楽しみ、自分らしさを堂々と表現できる場を創出する。その個性が新しい世界を切り開く力になることを目指す。
19	井上 理恵	三次市・安芸高田市・庄原市ほか広島県全域	Fun Solution (ファンソリューション)	テーマ別のボードゲームや資質分析を活用し、人やチームの可能性を引き出すワークショップ型研修を提供する。この研修では、楽しみながら自己理解や他者理解を深め、チームの結束力を高めることを目指す。ゲームや分析ツールを通じて、個々の強みや役割を再発見し、組織全体のパフォーマンス向上に繋がる学びの場を創出する。
20	森下 誠	安芸高田市	協生農法で安芸高田の荒廃農地を「食べられる森」に!!	「食べられる森」を通じて、自然との協生を実現し、人と地域に「本来の健康な食」と「持続可能な未来」を提供することを目指す。この取組は、自然環境の保全と共に、地域資源を活かした新たな価値の創出につながる。
21	中岡 由美子	三次市	地域へ広がる幸せの輪~こころと人を結ぶイベント&サポート事業~	「自己の成長や豊かさが満たされることで、家庭や地域にも幸せの輪が広がる」という想いを原動力に、五感をひらくイベント事業とサポート事業を展開する。これにより、個人の内面的な充実がコミュニティ全体の活性化へとつながり、地域全体に持続的な幸せを広げる仕組みを目指す。

地域とつながり課題解決コース

番号	お名前	関係する中山間地域	プランのタイトル	プラン概要
1	田崎 裕司	甘日市市 (旧佐伯町)	中山間空き家活用 NEW HATSUKAICHI	甘日市市では、宮島を中心とした観光産業の発展が期待される一方で、中山間地域では人口減少が進み、空き家対策が急務となっている。この課題に対応するため、空き家対策をワンストップで行う事務所を開設する。空き家を活用し、新たな人や事業を地域に呼び込むことで、宮島だけに依存しない甘日市市の新たな魅力の創出に貢献することを目指す。
2	石井 優子	福山市内海町	「内海町にきてみい」プロジェクト	美しい島の豊かな資源を活かし、人と人がつながることで島の魅力を高め、多くの人が訪れたくなる島を目指して挑戦している。この取組を通じて、地域の活性化と持続可能な未来を創造することを目指す。
3	東 歩	甘日市市玖島	加工室から玖島地区活性化を目指したい	加工室に菓子製造許可を取得し、菓子の製造やマルシェでの販売、カフェでの提供、クッキング教室の実施を通じて、地域の交流やつながりを深める場を提供する。この取組により、加工室の利用者を増やすとともに、玖島の特産品を開発し、地区内外に玖島の魅力を広く発信することを目指す。
4	吉岡 康仁	三原市大和町	農地を守り、田舎を守り、体を守る源へ コメサンプラザプロジェクト	耕作放棄地が幸せの源となる未来を目指す。売上が見込めず放棄された土地を再び活用し、お米を通じたつながりを生み出す。耕作放棄地を「コメサンプラザコミュニティ」の拠点とし、人々が集い、地域の豊かさを感じられる場を作る。お米に特化した発信と宣伝を行い、地域の魅力を広く届けることで、夢や未来に希望の光を見つめられる地域社会を築いていく。
5	三上 明子	庄原市	庄原をレンタサイクルの町にする 子供たちとつくる庄原観光デジタルマップ	庄原をレンタサイクルの町にし、子供たちと庄原観光デジタルマップを作成することで、地域の魅力を未来に繋ぐ取組を進める。ネット社会の中で失われがちな「人とのつながり」や「町の温かさ」を取り戻し、町に安らぎや安心を届けたい。この活動を通じて、夢や未来に希望を見つけ、人と町が繋がる新たなふるさとづくりを目指す。
6	山平 純子	三次市	地域は家族 人と地域の繋がりの 中で笑顔輝く子育ての居場所づくり	ふるさとが「人」や「町」として存在してほしいと願う。ネット社会が主流となる現代において、子育てや保育現場ですらネットが頼りとなり、情報の豊富さの裏で孤立が進む状況が見られる。しかし、人は人とのつながりの中で生きる存在である。町のあたたかさに触れ、安らぎと安心を感じながら、夢や未来に希望の光を見出してほしい。そのために、町を知り、人とのつながりを感じられる取組を進めていく。
7	四方 諒	三原市全域の 中山間エリア	空き家を使って起業に挑戦する ローカルチャレンジャーをサポートしたい	空き家を活用して起業を目指すローカルチャレンジャーの相談窓口となり、空き家再生に関する実践的なノウハウを提供することで、リスクを最小限に抑えた起業を促進する。この取組を通じて、持続可能なまちづくりの形成を目指す。
8	佐々木 智之	安芸高田市	空き家から開き屋 「移住の窓口 開き屋」	空き家所有者と創業希望者をつなぐ「移住の窓口」を開設し、空き家に店舗が入ることで、地域に新たな活気を生み出すきっかけを作る。この取組を通じて、地域活性化と持続可能なまちづくりを推進する。

